



Title	大阪大学低温センターだより No.23 裏表紙
Author(s)	
Citation	大阪大学低温センターだより. 1978, 23
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/22036
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

われる

水素急冷法：金属中に高濃度に溶解した水素を得るために使われる。

試料の通電加熱時に発生した熱は大部分が輻射熱として放散するのでデュワーびんの銀メッキをやめて外部に逃げるようにした場合も試みた。実際加熱時の蒸発量は減少するがそれ以外の時（測定時及び放置時）の液体 He 蒸発量が増加するデュワーびんの真空度も早く悪くなる。それ故一般的には銀メッキする方が経済的である。

編集後記

本年4月に西独のシェール大統領が国賓として来日され、それを機会にアレキサンダー・フォン・フンボルト財団主催のフンボルト留学生学術交流会が京都国際会議場で3日間盛大に行なわれた。第二次大戦後この財団が再興されてから25年間に、約1000名もの日本人が西独で1～2年間の研究生活を送ったことになり、会場には多くの阪大関係者の顔も見られた。ちなみに、10名程の本編集委員の中で2名が元留学生であった。

一国の宰相が国賓としての訪問先での多忙な日程の中で、このような会議に出席し、レセプションを主催されたことは異例のことであり、大統領の格調の高い演説と相まって、西独の国をあげての国際交流文教政策の深さをつくづく感じたものである。

日本も今からでも遅くない。世界各国からもっと多くの研究者を受け入れ、きめこまかい世話と、自由な研究活動を保障することが、ひいては日本の正しい理解に確実につながることであろう。

（祖徳道夫 記）

大阪大学低温センターだより 第23号

昭和53年7月発行

編集責任者 長谷田泰一郎

発行者 大阪大学低温センター

吹田分室 大阪府吹田市字山田上

電話 (06) 877-5111 内線 4105

豊中分室 大阪府豊中市待兼山町

電話 (06) 856-1151 内線 2562

印刷所 東憲総合美術印刷株式会社

大阪市福島区海老江8丁目7番27号

電話 (06) 451-1061

村上喜与志

目 次

研究ノート

細胞の保存	岡田善雄	1
アモルファス半導体	浜川圭弘	2
ヘリウム急冷法と水素急冷法	山川浩二	6

表紙：可逆的相転移による物性制御

(詳細は本文2頁)